

サステナブルなサプライチェーン方針

2025 年 11 月 1 日制定

日本デジタル配信株式会社（以下、当社）は、グローバルなサプライチェーンの責任ある一員として、自社のみならずサプライチェーンも含めた人権および環境への課題解決の取り組みが求められていることを認識しています。当社は「サステナビリティ基本方針」および「重点課題（マテリアリティ）：7 つの約束」の策定により、サステナブルな社会の実現への貢献と企業価値の向上に努めるとともに、「サステナブルなサプライチェーン方針」を策定し、人権や環境問題に対する当社の考え方をお取引先さまにも共有し、原材料・商品調達を含む取引全般におけるサプライチェーン上の環境・社会リスクを認識し、事業活動を通じ、関係するサプライチェーンの課題把握に努め、持続可能な社会の実現に向けた最適な事業活動に取り組んでまいります。

【はじめに】

当社は、「あらゆるネットワーク&テクノロジー、それに英知を結集して、生活を支える豊かなメディアライフを創造し、新たな喜びを共有する。」を企業理念とし、行動規範に基づき、「社会に対して」、「法令の遵守」、「社会への貢献」、「環境保全への寄与」、「反社会的勢力に対する姿勢」、「お客様に対して」、「取引先に対して」、「株主に対して」、「私たちにに対して」の基本原則を定め、常に高い倫理観を維持し、適正な職務の遂行を実践しています。この理念、行動規範の下では、当社の国内外における調達活動を含めた取引全般において、関係法令等が遵守され、自由な競争に基づく公正、公平かつ透明な手続きがとられるとともに、品質の確保、最適な価格設定、納期の遵守に加え、人権、環境等への配慮が行われること、サプライチェーン全体で社会的価値と経済的価値の創造に寄与する、責任ある活動となっていることが必要と考えます。

本方針は、当社が、お取引先さまとともに、持続可能な社会の実現に向け、社会から求められる責任を果たしていくために、遵守すべき事項を定めたものです。当社の事業、サービスに関係するお取引先さまにおいては、本方針の趣旨と内容をご理解いただき、当社とともに実践いただきたく、ご協力をお願いするものです。

【本方針の適用範囲】

本方針は、当社の事業において調達及び提供される全ての商品・サービス・原材料に関わる直接又は間接的なお取引先さまを含むサプライチェーン全体に適用されます。

【遵守すべき事項】

当社が掲げる「サステナビリティ基本方針」および「重点課題（マテリアリティ）」に則り、以下事項への理解と実践への協力を、原材料・商品調達を含む取引全般におけるサプライチェーンに対し求めています。

1. 安全で高品質なサービスの提供

多様なニーズにこたえ、高い品質と安全性、安定した供給を実現し、お客様と社会からの信頼を獲得すること。

(1) 安全性の確保

常にお客さまの安全・安心に配慮し、安全性・健康を確保すること。

(2) 品質管理、品質保証体制の構築

商品・サービス等の設計基準、品質基準を遵守するとともに、常に品質の向上に努めること。また、調達及び提供する商品・サービス・原材料に関して、紛争、犯罪に負担しないこと。

(3) 商品・サービスに係る必要な情報の開示

法令等を遵守し、最終消費者・利用者の判断を左右する重要事項について、理解が得られるよう説明すること。また、虚偽、過大な商品・サービス等の説明（不当表示等）や、差別的又は誤解を与える広告、子どもに悪影響のある広告を行わないこと。

(4) BCP の構築

災害や不測の事態に備え、事業継続計画（BCP： Business Continuity Plan）を整備すること。

2. 環境への配慮

温室効果ガス排出削減、地球環境と生物多様性の保全に努め、資源の有効利用等、循環型社会の実現を目指すこと。

(1) 気候変動への対応

商品・サービスのライフサイクルを通じて、エネルギーの効率的な利用と再生可能エネルギーの利用を推進し、温室効果ガスの排出が気候変動に与えるインパクトを抑えること。

(2) 生物多様性の保全

周辺環境（陸と海）や生物多様性、生態系への負荷の低減に取り組むこと。

(3) 汚染の防止

大気・水質・土壌等の汚染を防止し、化学物質を適切に管理し、汚染物質の排出防止やその原因となる材料の削減に取り組むこと。

(4) 資源の有効利用

リデュース、リユース、リサイクルを推進するなど、事業に使用する資源の有効利用

及び廃棄物の削減に取り組むこと。

(5) 適切な水使用

適切な水資源管理及び水資源の効率的な利用に取り組み、事業及び原材料の生産に使用される水資源の保全も考慮すること。

(6) 適切な森林資源の活用

生物多様性や保護価値の高い森林の保全、森林と共存する地域の文化、伝統、経済を尊重し、再生材、認証材等の持続可能な方法で生産された森林資源を活用するよう努めること。

3. 地域社会への貢献

事業活動を行う地域の文化・慣習等を尊重し、対話を通して地域社会が関わるさまざまな社会的課題を把握し、課題解決につながる事業活動や社会貢献活動の実施に努めること。

4. 人権の尊重・労働環境への配慮

働く人の多様性を尊重するとともに、労働安全衛生の確保、公正な処遇、能力開発機会の提供に努め、個々の能力を最大限に発揮できる環境を実現すること。

(1) 国際的な人権及び労働基準の遵守・尊重

人権や労働に関する国際的な基準を支持し、人権を尊重した事業活動を行うこと。

(2) 差別の禁止

国籍、人種、宗教、思想信条、性別、年齢、性的指向・性自認、障がいの有無等に基づく差別行為を排除し、雇用や就業における機会の均等等を損なわないようにすること。

(3) ハラスメントの禁止

セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント等の一切のハラスメントを行わず、またそのような発言、行動を一切容認しないこと。

(4) 結社の自由、団体交渉権

労働環境や賃金水準等の労使間協議を実現する手段としての従業員の団結権や団体交渉権を尊重すること。

(5) 強制労働・児童労働の禁止

強制労働・児童労働を認めないこと。国際規範や法令等に従った適切な雇用管理を行うこと。

(6) 最低賃金以上の賃金支払い

法令等に基づき、最低賃金を遵守し、適切に賃金を支払うこと。

(7) 長時間労働の禁止

労働時間の適正な管理を行い、違法な長時間労働をさせないこと。

(8) 職場の健康・安全・衛生の対策

法令等に基づき、健康・安全・衛生管理を行い、労働災害を防止し、身体的・精神的

に安全で健全な労働環境・条件を整えること。火災や地震等緊急時における安全対策を実行し、日頃から防災訓練等、安全の確保をすること。

5. コーポレートガバナンスの充実

開示すべき情報と守秘すべき情報を明確に認識、把握し、法令を遵守して適時・適切な情報管理を行うこと。個人情報やプライバシー情報、機密情報、業務上取り扱う情報を保護し、情報漏洩を防止するために、管理体制を整備し、情報システムを適切に管理すること。

6. コンプライアンスの徹底

各種法令等を遵守し社会規範や企業倫理を十分に理解し、良識と責任を持って行動すること。腐敗行為の防止、反社会的勢力との関係遮断、知的財産権の保護等、公正な取引を徹底すること。

(1) 腐敗行為の防止

贈収賄、利益相反、横領、利益供与の強要、不正入札等、自己又は第三者の職務上の権力や地位を濫用する、いわゆる腐敗行為の一切を行わず、これを認めないこと。また、腐敗行為の防止に向けての取り組みを実践すること。

(2) 反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは一切関わりを持たず、不当な要求に対しては毅然とした態度で対応すること。

(3) 知的財産権の保護

知的財産権（特許権、著作権、意匠権等）を保護し、第三者に帰属する知的財産権を尊重すること。

(4) 通報・相談制度の整備と報復行為の禁止

問題の把握や解決のため、通報・相談の体制を整えること。また、通報・相談に関係する個人の情報は秘密として厳守するとともに、通報・相談したことを理由として通報・相談者が報復等の不利益を被らないよう適切な措置を講じること。

【遵守すべき事項の実践のための協力事項】

本方針を遵守する為に、職場内における理解浸透及び、継続的な改善に努めていただければと思います。また、お取引先さまのサプライチェーンに対しましても、本方針を理解し浸透させるよう働きかけていただければと思います。

【本方針に抵触する行為への対応】

本方針に反する行為が発生・発覚した場合は、協議の上、ともに是正に向けての努力をするものですが、是正措置に全く協力が得られない場合等には、取引の継続について再検討する

場合があります。

以 上